




marantz
PROFESSIONAL

PMD561

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] http://inmusicbrands.jp/marantz_pro/

marantz
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

inMusic Japan株式会社

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

クイックスタートガイド

はじめに

主な特長：

- プロフェッショナル・グレード・オーディオを安定性と信頼性の高い SD/SDHC フラッシュメディアに直接レコーディング可能
- 選択可能なステレオ / モノラル / WAV/MP3 レコーディング
- 44.1、48、96kHz サンプルレート (WAV)
- 16/24bit から選択可能
- 32kbps ~ 320kbps (MP3) の間で 6 種類から選択可能
- スタジオのインターフェイス等と接続するための S/PDIF デジタル入力
- バランス XLR マイク入力 x 2 (+48V ファンタム電源供給可能)

同梱品

- ・ PMD561
- ・ 電源アダプター
- ・ SD カード
- ・ RCA - 3.5mm ステレオミニプラグ・オーディオケーブル
- ・ USB ケーブル
- ・ Quickstart Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

サポート

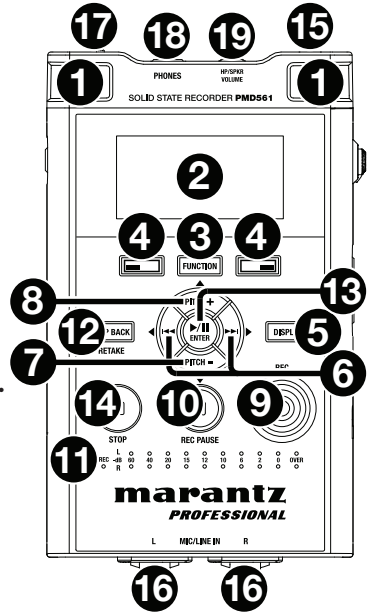
この製品の最新情報（マニュアル、技術仕様、システム要件、互換性情報など）に関しては以下のウェブサイト
を参照してください：inmusicbrands.jp/marantz_pro

また、修理や使用方法などの製品サポートについては、以下を参照してください：inmusicbrands.jp/marantz_pro/support/

機能

フロントパネル

1. **マイク**：内蔵ステレオ・コンデンサーマイク
2. **ディスプレイ**：ディスプレイには、PMD561 の状態や情報を表示します。詳細については、**ディスプレイ**の項目を参照してください。
3. **ファンクション・ボタン**：F1 と F2 ボタンの機能を切り替えるために**ファンクション・ボタン**を押してください。機能は、各動作モードによって異なります。
4. **F1/F2 ボタン**：F1 と F2 ボタンの機能は、各動作モードとファンクション・ボタンによって異なります。ファンクション F1/F2 は、ディスプレイの下の隅に表示されています。ステータスが変更されると自動的に機能が変わります。同じステータスの 2 番目、3 番目の機能は、**ファンクション・ボタン**を押すことによって選択することができます。
5. **ディスプレイ・ボタン**：時間情報など、**ディスプレイ**に表示する内容を切り替えるために**ディスプレイ・ボタン**を押してください。表示される内容は、各動作モードによって異なります。
6. **◀◀▶▶ / ボタン**：
 - ストップ、プレー、プレー - ポーズ・モード時にこのボタンを押すとファイルを選択することができます（前、または次のファイルにジャンプ）。
 - プレー - ポーズ・モード：このボタンを押したままにすると、オーディオ無しで高速リバース / フォワード・サーチを可能にします（サーチは-/+）。
 - プレーバック・モード：このボタンを押したままにすると、2 倍速スピードの早送り / 巻き戻しサーチを可能にします（サーチは-/+）。
7. **ピッチ-ボタン**：再生のスピードを落とすためにこのボタンを使用してください。メニュー・モード時には、アイテムを変更するために使用することができます。
8. **ピッチ+ ボタン**：再生のスピードを上げるためにこのボタンを使用してください。メニュー・モード時には、アイテムを変更するために使用することができます。
9. **Rec ボタン**：ストップ、Rec - ポーズ・モードからレコーディングを開始するには、このボタンを使用してください。
10. **Rec ポーズ・ボタン**：ストップ、またはレコード・モードから Rec - ポーズ・モードに入るためにこのボタンを押してください。
11. **レベル LED**（グリーン、オレンジ、レッド）：レコード、Rec - ポーズ、プレーバック・モード時に入力されるサウンドのレベルを表示します。
12. **スキップバック・ボタン**：プレーバック、またはプレー - ポーズ・モード中にスキップバックさせるためにこのボタンを使用してください。また、このボタンは、Rec - ポーズ・モード時に押すとリテイクレコード・モードが設定されます。



13. **▶/|| / エンター・ボタン**：プレーバック、またはプレー - ポーズ・モードを切り替えることができます。メニュー・モード時は、オプションの選択に使用することができます。
14. **ストップ・ボタン**：このボタンを押すと、プレーバック、またはレコーディングを停止し、プレー - ポーズ・モード、または Rec ポーズ・モードから離れます。メニュー・モード時にこのボタンを押すとメモリーにストアすることなくメニュー・モードを終了します。
15. **リモートコントロール・ジャック**：オプションのリモート RC600PMD や外部リモート・コントローラーを接続するための端子
16. **Mic/Line 入力ジャック**：XLR ステレオ（マイク / ラインレベル）
17. **ファンタム / マイク・スライドスイッチ**：このスイッチでファンタム・オン、オフ、ラインを切り替えます。ファンタムは、外部マイクに +48V を供給します。
18. **ヘッドフォン・ジャック**：モニタリングやプライベート・リスニングに使用するために、ヘッドフォンを接続することができます。
19. **Hp/Spk Vol コントロール**：ヘッドフォン、または内蔵スピーカーの出力レベルを調整します。

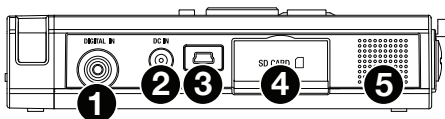
警告：ヘッドフォンを使用する場合、高音量で聴取されないように気をつけてください。長時間に渡って高音量で聴取し続けると慢性的な聴覚障害を引き起こす可能性があります。

ディスプレイ

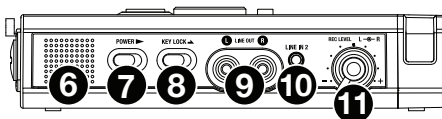
1. カードの残容量
2. インプット・ソース
3. F2 ファンクション
4. ステータス
5. バッテリー・アイコン
6. タイマー・アイコン（タイマー・レコード / プレーバックが設定されている場合、このアイコンが表示されます。タイマーレコード / プレーバック中は点灯します）
7. F1 ファンクション
8. ファイル数
9. 合計時間



左側面



右側面



左側面

1. **デジタル入力ジャック**：S/PDIF デジタル出力を装備している外部デバイスからデジタルオーディオ・ケーブルを RCA ジャックに接続してください。
2. **DC 入力ジャック**：付属の電源アダプターを接続してください。バッテリー電源でレコーダーを使用しながら電源アダプターを接続すると、自動的に電源アダプターからの電源に切り替わります。電源アダプターを取り外した場合は自動的にバッテリー電源に切り替わります。
3. **USB ポート (Mini-B)**：停止中に USB ケーブルを接続すると USB モードが始まります。
4. **SD カード・スロット**：SD カードを取り付けるために蓋を引き出してください。
5. **スピーカー**：L チャンネルの内蔵スピーカー

右側面

6. **スピーカー**：R チャンネルの内蔵スピーカー
7. **パワー・スイッチ**：スイッチをスライドさせ、そのまま少し保持するとパワーがオンになります。オフにする時もスライドさせてください。レコーディング、REC ポーズ・モード時はこのスイッチは無効になります。
8. **キーロック・スイッチ**：キーロックのオン / オフをコントロールするスライド・スイッチ。
9. **ラインアウト・ジャック**：外部デバイス（アンプ等）にオーディオ信号を出力するためにこのジャックにオーディオ・ケーブルを接続してください。
10. **ラインイン 2 ジャック**：外部デバイスからのサウンドをレコーダーに入力するために、このジャックに外部オーディオ・デバイスを接続してください。
11. **Rec レベル・コントロール**：レコーディング・レベルを調整するために使用してください。つまみの内側は右チャンネル、外側は左チャンネルのコントロールです。片方を回している間に他方を持たない限り、つまみは両方同時に回ります。レベル・メーターが可能な限り 0dB に近くなる（超えない範囲で）ことが最適な録音レベルです。

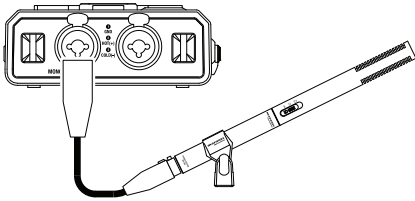
セットアップ

はじめに > 同梱物に記載されていないものは別売です。

接続例

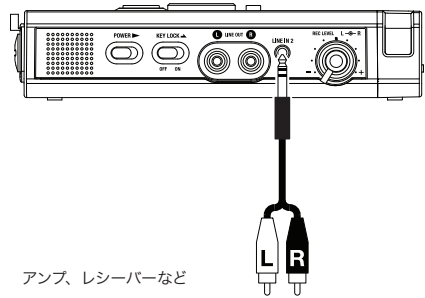
録音

例：A



マイクロホン

例：B



アンプ、レーザーなど

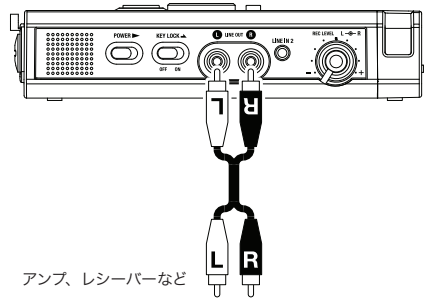
再生

例：A



ヘッドホン

例：B



アンプ、レーザーなど

クロック・セッティング

トラックがスタートすると、日付、時刻が各トラック（ファイル）にスタンプされます。オーディオ・トラックをコンピュータで見た場合、この日付と時刻は「更新日時」として表示されます。

1. 停止している時に **F1 (Menu)** ボタンを押してください。
2. 時刻 / 日付 (**Time/Date**) を選択するために **ピッチ+**、または **ピッチ-** ボタンを押してください。
3. 時刻 / 日付の設定を入力するために **▶/|| / エンター** ボタンを押してください。
 - **ストップ・ボタン**を押すとキャンセルされます。
 - 項目を選択するために **◀◀** か **▶▶** ボタンを押してください。
 - 時刻を設定したら、トップメニューに戻るために **◀◀** ボタンを押してください。
 - 年を選択した場合、**▶▶** ボタンは無効になります。
 - 値を変更する場合、**ピッチ+**、または **ピッチ-** ボタンを使用してください。
4. **F1 (Exit)** ボタンを押してください。
 - **Store?** とディスプレイに表示されます。
 - リアルタイム・クロックに書き込むために **Yes** と **▶/|| / エンター** ボタンを押してください。

注意：Feb.31（2月31日）のように存在しない日付が入力されている場合は、**Feb.28**（2月28日）のように修正されます。

言語

Language メニューを選択すると表示する言語を選択することができます（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、スウェーデン語）。

1. 停止している時に **F1 (Menu)** ボタンを押してください。
2. 使用する言語を選択するために **ピッチ+**、または **ピッチ-** ボタンを押してください。
3. 使用言語の設定を決定するために **▶/|| / エンター** ボタンを押してください。
 - **ストップ・ボタン**を押すとキャンセルされます。
 - 項目を選択するために **ピッチ+**、または **ピッチ-** ボタンを押してください。
 - トップメニューに戻るために **◀◀** ボタンを押してください。
4. **F1 (Exit)** ボタンを押してください。
 - **Store?** とディスプレイに表示されます。
 - 変更を書き込むために **Yes** と **▶/|| / エンター** ボタンを押してください。

操作

レコーディング

通常のリコーディング

1. **パワー・ボタン**をスライドさせたままにし電源をオンにしてください。
2. レコーディングを始めるには、**Rec** ボタンを押してください。
 - レコーディング中、REC インジケーターが点灯します。
 - ディスプレイには、レコーディングの情報を表示します。
 - **Rec ポーズ**・ボタンを押すと、レコーディングをポーズ状態にします。
3. レコーディングを停止し、ファイルを終了するには、**ストップ**・ボタンを押してください（オーディオ・ファイルを閉じます）。
録音したファイルを再生するために **▶/||/エンター**・ボタンを押すか、もう一度**ストップ**・ボタンを押して**ストップ**・モードに入ってください。その後、**▶/||/エンター**・ボタンを押すと最初のオーディオ・ファイルを再生します。

リテイク・レコーディング

PMD561 は、ファイル内のどの位置からでも録音し直すことが可能なリテイク・レコーディング機能があります。

レコーディング中にリテイク・レコーディングを行なう：

1. **Rec** ボタンを押して通常のリコーディングを開始してください。
2. レコーディングを一時停止するには、**Rec ポーズ**・ボタンを押してください。
3. リテイクレコーディング・モードを設定するために**スキップバック**・ボタンを押してください。プリセット・メニューで設定したスキップバック量とプレーバック・スタートの位置にしたがった値でレコーディング・ポジションをスキップバックします。
4. 再生する間にサウンドをモニターしていると、リテイクレコーディングを行いたいポジションを見つけることができます。
 - **▶/||/エンター**・ボタンを押して再生をポーズ状態にしてください。
 - 希望の位置を探すために**スキップバック**、**◀◀**または**▶▶** ボタンを押してください。
 - 再生速度を変更するには、**ピッチ+**ボタンと**ピッチ-**ボタンを使用してください。リテイクレコーディング・ポジションを設定するために、**Rec ポーズ**・ボタンを押してください。
5. リテイクレコーディングを始めるために **Rec** ボタンを押してください。不要なデータ（テイク 1）を削除し、同じ場所に新たにレコーディングを開始します。
テイク 2 のレコーディングを開始するとき、0.5 秒、またはプリセット・メニューの**プリ・レコード**（PreRecord）で設定した時間のプリレコーディングを行います。

再生中にリテイクレコーディングを行なう：

1. ◀◀ か ▶▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選択してください。
2. ▶/|| / エンター・ボタンを押して再生を始めてください。
3. 再生する間にサウンドをモニターしていると、リテイクレコーディングを行いたいポジションを見つけることができます。
 - ▶/|| / エンター・ボタンを押して再生をポーズ状態にしてください。
 - 希望の位置を探すためにスキップバック、◀◀ または ▶▶ ボタンを押してください。
 - 再生速度を変更するには、ピッチ+ボタンとピッチ-ボタンを使用してください。リテイクレコーディング・ポジションを設定するために、**Rec ポーズ**・ボタンを押してください。
4. リテイクレコーディングを始めるために **Rec** ボタンを押してください。不要なデータ（テイク 1）を削除し、同じ場所に新たにレコーディングを開始します。
テイク 2 のレコーディングを開始するとき、0.5 秒、またはプリセット・メニューの**プリ・レコード (PreRecord)** で設定した時間のプリレコーディングを行います。

プレイバック

1. **パワー・ボタン**をスライドさせたままにし電源をオンにしてください。
2. ◀◀ か ▶▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選択してください。
3. ▶/|| / エンター・ボタンを押して再生を始めてください。
もう一度 ▶/|| / エンター・ボタンを押すと一時停止します。
4. 再生を停止するには、**ストップ**・ボタンを押してください。
録音したファイルを再生するために ▶/|| / エンター・ボタンを押すか、もう一度**ストップ**・ボタンを押して**ストップ**・モードに入ってください。その後、▶/|| / エンター・ボタンを押すと最初のオーディオ・ファイルを再生します。
注意：プリセットの **File Sort** の設定でファイルの並べ替えを行うことができます。**アルファベット (Alphabet)** に設定すると、記号、数字、アルファベット順にソートされます。**時間 / 日付 (Time/Date)** に設定すると、オーディオファイルを作成した順にソートされます。

再生したいファイルを選択するには 2 通りの方法があります。ストップ・モード中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを使用するか、ファイルリストからファイルを選択してください：

1. 停止中に **F2 (List)** ボタンを押してください。
ファイル・リストが表示されます。
2. オーディオ・ファイルを選択するために**ピッチ+**、または**ピッチ-**ボタンを押してください。次に ▶/|| / エンター・ボタンを押してファイルリスト・メニューを表示してください。
3. 再生するファイルを選択するために**ピッチ+**、または**ピッチ-**ボタンを使用してください。その後、▶/|| / エンター・ボタンを押して再生を開始してください。
再生中に**ストップ**・ボタンを押すとファイル・リストに戻ります。

USBモード

PMD561 は SD カードに直接録音を行います。録音したファイルは、PMD561 から SD カードを抜いて、お手持ちのコンピューターに挿入することで、ファイルをコンピューターに転送できます。あるいは、USB ケーブルで PMD561 とコンピューターを接続して、ファイルを転送することも可能です。PMD561 内の SD カードは、接続されたコンピューター上に外部ドライブとして表示されます。

※ 一般的には、MP3 圧縮フォーマットで録音したオーディオは、WAV フォーマットより容量が小さく、インターネット上で共有するのに適しています。

1. コンピューターの電源をオンにしてください。
2. SD カードを挿入してください。
3. PMD561 の電源をオンにしてください。
4. 停止中にコンピューターと PMD561 を接続してください。
 - USB モードがオンになり、設定画面が表示されます。
 - PMD561 内の SD カードは、コンピューター上にリムーバブルデバイスとして表示されます。

注意：

- USB パワーは、AC アダプターやバッテリーが無くてもこの機能を有効にします。
 - パワースイッチ以外は機能しません。
 - USB モード中に SD カードを抜かないでください。保存されているデータが破損する恐れがあります。
 - 録音 / 再生時には、PMD561 とコンピューターにケーブルを接続しないでください。
- PMD561 は、USB パワーの状況によって電源をオフにしたり、ストップする場合がありますかもしれません。

トラブルシューティング

ご使用に関して問題が発生した場合、はじめに以下の項目をチェックしてください：

- すべてのケーブルとデバイスが正しく、確実に接続されていることを確認してください。
- このクイックスタートガイドで説明されているように PMD561 を使用していることを確認してください。
- 他のデバイスやメディアが正常に動作していることを確認してください。
- 正常に動作していないと思われる場合の問題と解決先については、以下の表を確認してください。
- PMD561 が異常動作をした場合、電源アダプター、またはバッテリーを取り外して電源をオフにし、マイクロプロセッサをリセットしてください。

問題	解決策
PMD561 の電源がオンになりません。	新しいバッテリーを取り付けてください。 付属の電源アダプターを使用し、正しく電源コンセントに接続されていることを確認してください。
PMD561 電源をオンにしても、その後オフになってしまいます。	新しいバッテリーを取り付けてください。
PMD561 は、録音しているようですが、再生すると音が出ません。	入力設定を確認してください（例：ライン入力が設定されている場合、ライン入力端子に何も接続されていなければ、PMD561 は無音のまま録音を行います）。
ヘッドフォン、または内蔵スピーカーから音が再生されません。	Hp/Spk Vol コントロールの設定を確認してください。 別のオーディオ・ファイル、またはカードで確認してください。
PMD561 が録音できません。	既に最大 999 ファイルの録音が行われていないかどうか確認してください。 PMD561 が SD カードを認識しているか確認してください。
マイク入力からの信号が確認できません。	入力選択を確認してください。 Rec レベルを確認してください。 外部マイクを接続している場合、接続しているマイクがファンタム電源を必要としているか確認してください。
PMD561 に過度のノイズが発生しています。	ケーブルの接続を確認し、必要であれば交換してください。 適切なゲインレベルが確認してください。
コンピューターで再生すると音質がよくありません。	コンピューターのサウンドカードとアプリケーションの設定を確認し、出来る限り高音質で再生できるセッティングにしてください。
コンピューターでファイルを読み取ることができません。	再生するアプリケーションの仕様を確認してください。いくつかの再生・編集アプリケーションは、MP3 や WAV フォーマットに対応していないものもあります。

付録

技術仕様

仕様は断りなく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

オーディオ・システム：ソリッドステート・レコーダー

メディア： ストレージ：SD または SDHC カード
録音フォーマット：MP3（320、256、192、128、64、32kbps）、WAV（16、24bit）

サンプリングレート： 44.1、48、96kHz

チャンネル： 2（ステレオ）または 1（モノラル）

周波数特性： 20Hz～24kHz（±1dB）

S/N 比： 65dB（Mic）、85dB（Line）、IEC-A-weighted

THD（@0VU）： 0.08%（Mic）、0.02%（Line）

ダイナミックレンジ： 85dB

入力端子 ：	マイク入力端子（XLR）	感度：1.2mVrms / 4.2KΩ
	ライン入力端子（6.3mm 標準フォン）	感度：0dbu / 4.2KΩ
	ライン 2 入力端子（3.5mm ミニジャック）	感度：500mVrms / 20KΩ

出力端子 ：	ライン出力端子（RCA ステレオ）	標準レベル：2.0V / 10KΩ
	ヘッドホン端子（6.3mm 標準ステレオフォン）	標準レベル：16mW / 32Ω
	スピーカー（内蔵）	標準レベル：450mW / 8Ω

電源： 電源アダプター（DC5V、1.5A、センタープラス）
単 3 乾電池 4 本（約 7 時間動作）
ファンタム電源（+48V、最大 10mA）
消費電力：4.2W（電源アダプター使用時の録再生）

サイズ： 約 105 x 40 x 170mm（W x D x H）

重量： 約 353g

商標およびライセンス

Marantz は、D&M Holdings Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Marantz Professional 製品は、inMusic Brands, Inc. によって製造されています。

SD と SDHC は、SD-3C, LLC. の登録商標です。

その他すべての製品名あるいは会社名、商標または登録商標は、それぞれの所有者のもです。

marantz
PROFESSIONAL

inmusicbrands.jp/marantz_pro